

2014年12月23日（日）
忘年登山「大平山・平尾山（山中湖）」
Repoat by 熊本

参加者は岡部さん、布目さん、石井さん、高橋（雄）さん、熊本の5名



石井さん、布目さん、熊本は、大月駅から、
ふじさん特急1号で、
8:13に発車し、富士山駅に向かう。



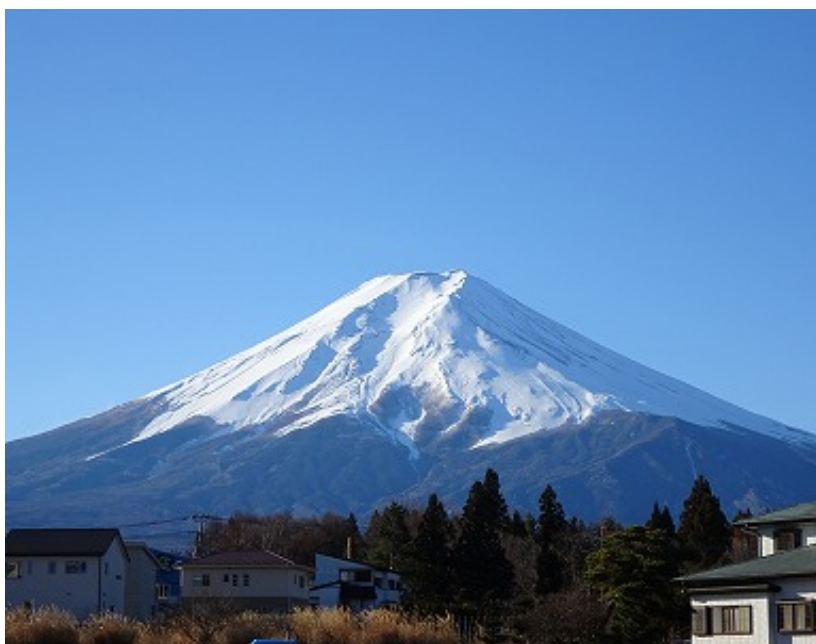
今日は天気が良くて富士山は綺麗に見える
でしょうね！



三つ峠駅を過ぎると、左車窓から富士山が
見えだす。
今日は雲一つなく、青空に富士の高峰が真
っ白で良く映える。



富士山駅に 8:52 到着。
ホームの後方から富士山が良く見え、
カメラを構える石井さん、布目さん。



富士山駅ホームからの富士山の雄姿。



20 倍ズームで山頂を撮る。



富士山駅改札を出た正面に喫茶があり、高橋雄さん、岡部さんを待つ間、コーヒーを！

トースト＋コーヒーで¥290。

9:17 に岡部さん、高橋雄さんが到着し、バスの待合室へ移動。



「ふじっこ号」の平野行 9:30 発は、15 人程度で満席になる可愛いバスで、車内には、保育園児たちによるクリスマスの飾りつけで埋め尽くされ、運ちゃんもサンタさんだ。

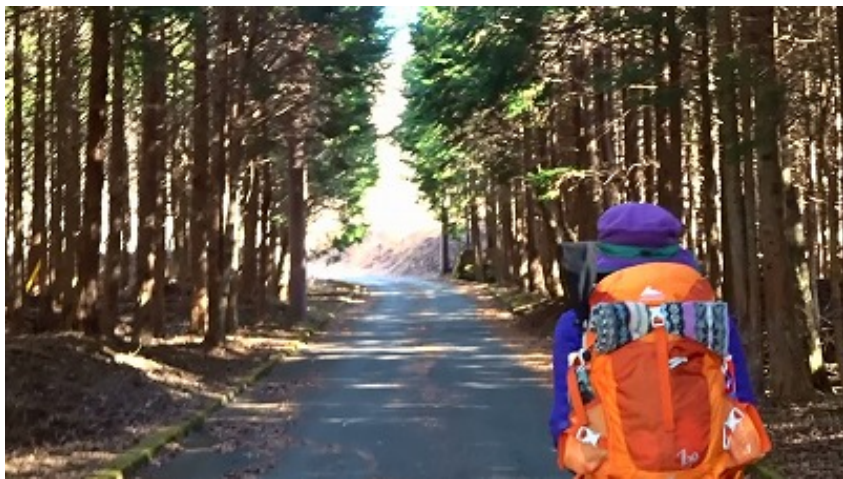


約 1 時間で山中湖の湖北バス停に到着し下車する。

山中湖湖畔を平野方向に向かい、大平山への登山口を探す。暫く歩くと、別荘地への道路が、尾根筋の近くまである。その舗装道路を 10 分程登ると管理事務所があり、この道路は関係者以外立ち入り禁止と怒られ、登山口は 34 区画にあると教えられた。



湖北のバス停を超え更に戻ると「34」の標識があり、その標識下に「大平山ハイキングコース入口とあった



登山口を入ると杉並木の舗装道路が 5 分程続き、左手に山道の登山道が出てきた。



後ろを振り返ると、杉並木の上に真っ白な山頂が覗いていた。



このコースは直登に近く、結構な急斜面となり、汗が流れ始める。



直登が続く



杉の樹林帯からブナに代わってくると、前方が明るくなり、尾根筋に近づいているのが分かる。



更に登ると周囲がカヤトになり全体が開け、山中湖の向こうに富士山の麓まで綺麗に見え始めた。



正面に大平山の東屋が見えてきた。そこが山頂でもう一踏ん張りだ。



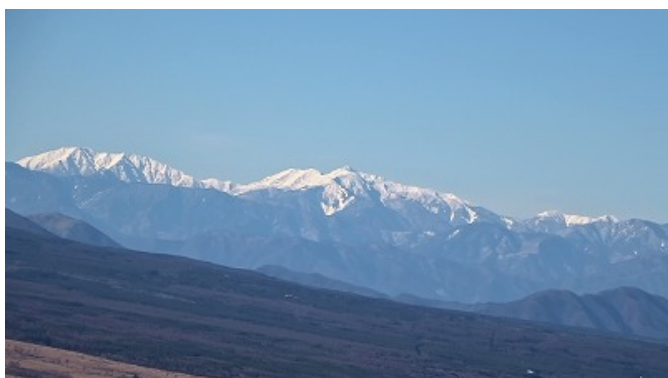
11:50 大平山山頂（1296m）到着、予定より 30 分遅れた。東屋の近くに 2 等三角点があった。



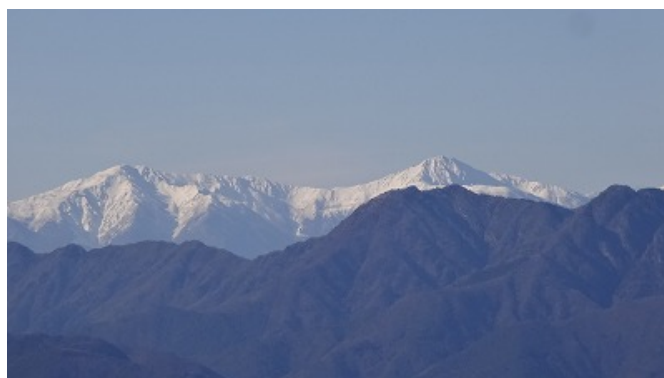
富士山をバックに最初の集合記念写真。



富士山を中央に挟んで、左に愛鷹山から伊豆半島の山並み、右に南アルプスの白銀尾根の帯が広がる



南アルプスの荒川岳、塩見岳



白根三山



快晴での富士山にヤッター、万歳！！



嬉しくって、嬉しくって！



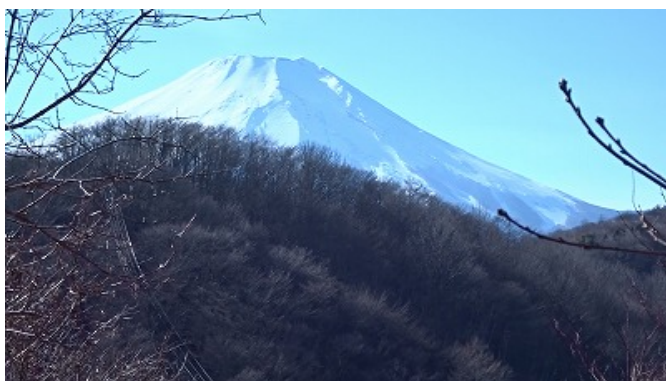
やっぱり、この天気だよなー



絶景を堪能した後は、お昼だ！ 素晴らしい形式を見ながら美味しい料理は格別だ！



ユックリと時間を掛けて昼食を食べ、12:50 に本日の最高峰「平尾山」に向かう、一端大きく下る。



鞍部から階段状の登りになる。振り返れば、大平山山頂から富士山の頭が覗く。



本日最後の登りはシンDOI！！



13:10 平尾山山頂（1318m）に到着した。小休憩して、平野へ下山し「石割の湯」へ向かう。



石割の湯は比較的空いており、約 90 分、入浴休憩した。



15:50 ふじっこ号バスで富士山駅に向かう。



富士山駅ホーム（17:00）から薄暮の富士山を撮る。
今日は、終日、富士山に雲が掛かることはなかった。



大月駅で約 25 分の電車待ちに、待合室に入り、焼酎で最後の仕上げをする 3 人。



大月駅からは、折り返しに中央線快速東京行に乗り、帰路に着きました。

年末最後の忘年登山を飾るに相応しい大平山・平尾山は、終日、快晴の中で富士山を見ながらのハイキングは堪能しました。